

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 13 年度から実施を始めた統計調査であり、21 世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の 2001 年 1 月 10 日から 17 日の間及び 7 月 10 日から 17 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

3 調査の時期

1 月生まれは平成 21 年 1 月 18 日、7 月生まれは平成 21 年 7 月 18 日(対象児の年齢 8 歳)とした。
(参考 第 1 回調査から第 6 回調査の 1 月生まれは 8 月 1 日、7 月生まれは 2 月 1 日である。)

4 調査事項

同居者、父母の就業状況、放課後のようす、家庭学習等、習い事等の状況、読書習慣、病気やけが、しつけの状況、子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子どもの日常生活で気になることや悩み、子育て費用 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は以下のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第7回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第8回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

- (2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ「総数()」を掲載している。